

教育研究業績書

2021年07月06日

所属： オープンカレッジ

資格： 特任教授（非常勤）

氏名： 永田 隆子

研究分野 体育社会学、スポーツと文化、スポーツ社会学 保健体育科指導法（球技）、スポーツカウンセリング	研究内容のキーワード 地域社会、学校教育、アダプテッド・スポーツ科学
学位 文学士	最終学歴 武庫川女子大学 文学部 教育学科 体育専攻 卒業 追手門学院 小学校・中学校・高等学校 卒業

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1. 学生の授業における学習促進・プレゼンテーション力向上	2010年4月～現在	講義内容で興味・関心を持った項目を受講生自身が調査・研究しレポートにまとめ発表する。その後 質疑応答する。
2 作成した教科書、教材		
1. スポーツと文化	2010年4月～現在	スポーツと文化 授業用15項目の資料作成
2. スポーツ社会学	2010年～現在	スポーツ社会学 授業用16項目の資料作成
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 西宮市生涯体育大学 講師	2014年12月14日	「家庭でできるアンチエイジング①」 「手軽にできる運動で健康管理」 ～楽しいフィットネスプログラム～ 「健やかな人生を送るための運動療法 一メタボ対策エクササイズ」 「健やかな人生をおくるための健康療法」 スポーツクラブ武庫女の設立趣旨は人の発育発達に応じた健康づくりのスポーツプログラム等の提供を行いスポーツライフ作り及び健康・体力の維持増進に寄与することを目的とし事業を行う。 「ジャストウエイト教室」を担当。 「地域スポーツ指導者に必要な基礎知識とは」 「家庭でできるアンチエイジング」 「家庭でできるアンチエイジング②」 「美しく・若々しく家庭でできるアンチエイジング」を講演 「家事だけでやせられる!？」読者の1日の消費エネルギーをチェック 太らない日常生活の極意・ながら筋トレをおすすめする。
2. 尼崎市大庄市民大学 講師	2014年9月4日	
3. 西宮市生涯体育大学 講師	2014年7月11日	
4. 西宮市生涯体育大学 講師	2014年7月11日	
5. スポーツクラブ武庫女 設立	2014年4月～現在	
6. 西宮市指導者養成講習会 講師	2014年2月4日	
7. 西宮市生涯体育大学 講師	2013年12月13日	
8. 西宮市生涯体育大学 講師	2012年12月21日	
9. 平成23年中国・九州・沖縄地区懇親会 記念講演	2011年8月28日	
10. リビング 尼崎・伊丹版 1297号に掲載	2007年4月14日	
4 その他		
1. 健康運動指導者育成25周年記念 感謝状	2013年9月24日	公益財団法人 健康・体力づくり事業財団
2. 兵庫県【自治賞】の受賞	2009年11月	兵庫県知事
3. 永年勤続（35年）	2007年5月25日	

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1. 公認体力テスト判定員	2010年10月	財団法人 日本体育協会 認定証N028179000731 第3052010号 日本スポーツ心理学会
2. 上級教育カウンセラー	2009年01月	
3. 全日本スキー連盟1級技能取得	1989年01月	
4. スポーツメンタルトレーニング指導士	1987年～現在	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1. 社会福祉法人和光会 理事	2015年8月20日～2017年5月5日	西宮市
2. スポーツクラブ21ひょうご西宮市推進委員会推進委員	2012年4月1日～2014年3月31日	西宮市教育長より委嘱状

職務上の実績に関する事項			
事項	年月日	概要	
3 実務の経験を有する者についての特記事項			
3. 宝塚市スポーツ推進審議会委員	2012年3月6日4年2期目～現在 2016年3月5日	宝塚市教育委員会 宝教委辞令特第536号	
4. 全関西学生スキー連盟 監事	2012年～現在	地域スポーツクラブの指導者養成の在り方について答申作成提出する 西宮市スポーツ振興審議会委員を3期わたりつとめる 国民体育大会冬季大会スキー競技会 兵庫県監督 (10回)	
5. 全日本学生スキー連盟 理事	2007年～2012年		
6. 西宮市スポーツ振興審議会小委員会、委員長	2002年10月		
7. 西宮市スポーツ振興審議会委員	1999年4月～2007年3月		
8. 国民体育大会冬季大会スキー競技会 兵庫県監督	1998年～2008年		
9. 兵庫県スキー連盟 理事・常任理事	1997年4月～2012年3月		
4 その他			
1. 鳴尾東ふれあいまちづくりの会 介護予防講座 講師	2015年5月20日		家庭で出来るたのしい運動の指導
2. ANAフーズ株式会社との研究活動	2015年3月～現在		健康・スポーツ学科永田隆子・情報メディア学科丸山健夫・食物栄養岸本美香子が参画する。
3. 西宮市生涯体育大学 講師	2014年7月11日	メタボ対策エクササイズ	
4. スポーツクラブ武庫女 設立	2014年4月～現在	ジャストウエイト教室開設する。	
5. 尼崎市市民大学 講師	2014年～現在	手軽にできる運動で健康管理等の指導	
6. 西宮市指導者養成講習会 講師	2013年12月4日	地域スポーツ指導者に必要な基礎知識とは	
7. 健康運動指導者養成25周年記念 感謝状	2013年9月24日	公益財団法人 健康・体力づくり事業財団	
8. 地域新聞 つどい場「なごみ・和」	2013年4月～現在	鳴尾東「和」は2013年4月に上田中町に誕生した、多世代の交流の場。 本学学生と地域の方々イベントや活動情報など届ける。	
9. 西宮市生涯体育大学 講師	2011年4月～現在	運動で健康づくり等の指導	
10. 健康運動実践指導者 養成講習会講師	1997年～現在	公益財団法人健康・体力づくり事業財団 養成講習会講師	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1. 宝塚市スポーツ振興計画平成22年度(2010)～平成31年(2019) アクティブ宝塚	共	2010年～2019まで継続	宝塚市	宝塚市スポーツ振興計画平成22年度(2010)～平成31年(2019)アクティブ宝塚 宝塚市民のスポーツ実施の現状とニーズ調査 今後の事業計画・全体概要
2. 21世紀の高脂血症 健やかな人生を送るために	共	2001年10月	読売新聞・万有製薬	永田隆子・山本章・石本孝夫・穴倉弘枝 できるところから生活習慣を改善し、健やかな人生を送るための予防のポイントを示す。担当 (pp.13, pp.15, pp.17)
3. 武庫川女子大学文学部50周年記念論文集 □「健康管理の現状とライフスタイルの検討」	単	2000年	和泉書院	生活習慣病が問題となり各人の健康管理がいかに大切であるかを論ずる
4. 健康管理の現状とライフスタイルの検討	単	1999年11月	武庫川女子大学60周年記念誌	永田隆子 疾病の多くは生活習慣に起因しているところが多く、疾病を予防し健康に生活する要因の1つにライフスタイルが重要なポイントと考えられる。生活時間・余暇活動・食品の摂取状況等より健康に生活する為に改善可能な条件はどこにあるのかを考察する。
5. 共通教育科目「保健体育」の現状と今後のあり方	単	1993年03月	兵庫県健康・スポーツ科学会	永田隆子 大学保健体育の現状と今後の問題点を検討する。
6. 小学生の教材体育と遊びの関連性について	共	1985年01月	武庫川女子大学紀要33集	永田、樫塚、北島 社会性の発達・遊戯性の発達・体育の好き嫌い別・体育の関心度を調査したものである。(pp.49)
7. 女子学生の運動に関する意識と形態及び体力・運動能力との	共	1984年01月	武庫川女子大学紀要32集	永田、丹羽、行森、伊達、三井、北島、初田 本学学生を対象に全国平均と学科別形態、体力、運動能力を調査した。(pp.9)

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
関係 8. 大学水泳選手における性格と体格	共	1982年01月	武庫川女子大学紀要30集	初田、永田、目連 全日本学生水泳選手権大会参加者を対象にY-G性格検査等を実施する。(pp.33)
9. 中学生におけるなわとび運動が運動能力に及ぼす影響	共	1981年01月	武庫川女子大学紀要29集	永田、行森、宮永、柳谷 西宮市内中学2校の体力運動能力を5年間にわたり測定した結果と全国平均との差を調査(pp.40)
10. 皮下脂肪厚のトレーニングによる減少第1報	共	1979年01月	武庫川女子大学紀要27集	永田、倉田、辻田、黛 トレーニング群を9グループにわけ、8週間にわたり測定、1週3日が1番良いトレーニング方法と考えられる。(pp.39)
11. 女子大学生の運動暦及び健康に関する意識と形態体力の関係	共	1977年10月	武庫川女子大学紀要25集	丸山、古西、黛 運動に対する考えが体力に及ぼす関係を見たものである。(pp.28)
2 学位論文				
3 学術論文				
1. 授業「キャンプ実習」に関する研究(4)－4ヶ年の基礎研究と総合評価－	共	2008年03月	武庫川女子大学紀要 人文・社会科学編	中村哲士, 保井俊英, 會田宏, 小柳好生, 中西匠, 永田隆子, 田中繁宏, 西坂珠美, 松岡紗也香, 野老稔 4ヶ年の比較と総合評価をおこなった。目標は、各実習に存在する最大公約数の解明である。1. 実習への取り組み方に学年差が生じた。2. 自覚せねばならぬ一様性の検討と時間確保が課題とされた。3. 因子分析は、「相互指導と配慮」「公平と民主」「触発と参加意欲」「積極的な協力と工夫」「楽しさの共有」「自己管理と健康状態」の6要因を抽出した。4. 天候による影響をコントロールする困難性が顕在化した。
2. 「障害者スポーツ指導者制度中級スポーツ指導員」資格取得者の意識と指導実績について	共	2008年03月	武庫川女子大学紀要 人文・社会科学編	保井俊英, 永田隆子, 三上真二, 藤原進一郎 中級スポーツ指導員の資格取得時の指導経験の実態と取得者の意識について検討した。取得目的は、必要性和興味と全体の2/3を示し、取得の意識は1年次44.8%、2年次前期までに72.4%が示している。指導実績は、「養護学校参加実習・介護等体験」「障害者(児)サポート」「障害者スポーツサポート」が多い。取得後の活動希望者がほとんどであるため、今後のサポートが必要である。
3. 障害者スポーツ指導者制度中級スポーツ指導員資格取得者のための指導経験について	共	2007年03月	武庫川女子大学紀要 人文・社会科学編	保井俊英, 永田隆子, 三上真二, 藤原進一郎 障害者スポーツ中級スポーツ指導員資格取得に関わる指導経験について、有益かつ行ないやすいパターンを検討するために、2004、2005年度資格取得者計44名を対象として研究を進めた。(1)養護学校参加実習・介護等体験実習や障害者スポーツサポートを中心に指導経験を選ぶことが、行いやすく継続もしやすい。(2)スポーツ種目では、水泳が多い。(3)多くの仲間を得て、活動を共にすることによりモチベーションはあがる。
4. 障害者スポーツ指導者制度中級スポーツ指導員資格申請について－3年間の指導実績－	共	2006年03月	武庫川女子大学紀要 人文・社会科学編	保井俊英, 永田隆子, 藤原進一郎 障害者スポーツ中級スポーツ指導員資格取得のための、3年間における指導実績を調査した(2004年3月卒業、24名)。(1)3年間の指導実績は、平均21.2±9.57日間。(2)障害者スポーツサポート24名、養護学校参加実習・介護等体験実習20名、障害者サポート15名が中心。(3)障害者スポーツサポートは、主に障害者スポーツ施設・機関を活用した内容が多く、水泳関連の内容も多かった。(4)障害者スポーツボランティア情報の充実が課題。
5. スポーツ施設開放におけるトレーニング・測定室の現状－高精度体成分分析装置の活用・健康チェック表の結果－	共	2005年03月	武庫川女子大学紀要 人文・社会科学編	永田隆子, 保井俊英, 中山悌一, 本田まり トレーニング・測定室の開放による利用者の状況と、INBODYや健康チェック表を活用することによって、スタッフとしての運営・指導を検討した。(1)開放時間の増加と広報活動に努める必要がある。(2)利用者各人にあった極め細やかな指導が必要である。(3)INBODY測定で、身体活動が「好き」で興味・関心のある人たちが有意に優れた結果が得られた。(4)栄養指導(相談)は、実施時間を工夫することにより利用者が増加した。
6. 「障害者スポーツ指導員」資格取得者の現状について(2)	共	2005年03月	武庫川女子大学紀要 人文・社会科学編	保井俊英, 永田隆子, 田中美紀, 藤原進一郎 障害者スポーツ指導員資格取得者の現状として、ボランティア活動者の特徴を検討することを目的とした。対象は大学卒24名、短大卒

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
ーボランティア活動者の特徴ー				9名、中級スポーツ指導員10名、初級スポーツ指導員23名であった。資格取得理由は、ボランティア活動に参加したことが大きな要因で、また役立つ経験をボランティア活動と指摘している。認定校としては、ボランティア活動を推奨できるよう、アフターサービスやネットワークづくりを実現する必要がある。
7. 「障害者スポーツ指導員」資格取得者の現状について	共	2003年12月	障害者スポーツ研究会	保井俊英・永田隆子・田中美紀・藤原進一郎 本学において「障害者スポーツ指導員」資格の取得した卒業生を対象に「障害者スポーツ」との関わりを調査し、認定校としてのアフターサービスを検討する。
8. 「障害者スポーツ指導員」資格取得者の現状について	共	2003年	武庫川女子大学紀要（人文・社会科学）	保井俊英・永田隆子・田中美紀・藤原進一郎 平成12～14年度卒業生のうち、障害者スポーツ指導員（初級・中級）取得者についてアンケート調査を実施し、活動の実態を明らかにした。配布430名、回収152名であった。現在ボランティア活動を行っているが33名、いないが117名であった。また指導員として活動を行っているが22名、いないが127名であった。活動ができない理由としては、時間がない、職業と関係ない、情報が乏しいなどがあげられ、これらの解消が問題であろう。
9. 本学健康・スポーツ科学科における障害者スポーツ指導者資格取得制度と課題について	共	2002年09月	武庫川女子大学紀要	永田隆子・保井俊英・田中美紀・藤原進一郎 障害者のスポーツの現状と障害者のスポーツ指導者育成について本学健康・スポーツ科学科の取り組みと課題について検討し報告する。
10. 本学健康・スポーツ科学科における障害者スポーツ指導者資格取得制度と課題について	共	2002年09月	武庫川女子大学紀要 2002版50巻	永田隆子・保井俊英・田中美紀・藤原進一郎 本学健康・スポーツ科学科では幅広いスポーツ指導者をめざして日本障害者スポーツ協会の認定校制度の発足に伴い、初級スポーツ指導員の認定校の申請を行い、認可された。さらに2000年度より中級スポーツ指導員も可能となったこともあり、中級指導員も含めた資格取得をめざして学科運営を進め、今日に至っている。そこで、この認定校としての取り組み及び今後のあり方について検討を行ったので報告する。（pp.45～54）
11. 健康管理の現状とライフスタイルの検討	単	1999年11月	武庫川女子大学60周年記念誌	永田隆子 疾病の多くは生活習慣に起因しているところが多く、疾病を予防し健康に生活する要因の1つにライフスタイルが重要なポイントと考えられる。生活時間・余暇活動・食品の摂取状況等より健康に生活する為に改善可能な条件はどこにあるのかを考察する。
12. 共通教育科目「保健体育」の現状と今後のあり方	単	1993年03月	兵庫体育・スポーツ科学学会第2回大会号	大学保健体育の現状と今後の問題点を検討する。
13. 新しい大学教育 授業に生きるトレーニング機器	単	1993年02月	月刊誌「女子体育」日本女子体育連盟	トレーニングの施設・設備を生かした大学の授業について具体的に記す
14. 変わる大学体育	単	1992年03月	兵庫体育・スポーツ科学学会第2回大会号	本学の共通教科科目への取り組み方を報告する。
15. 一般女子学生の寒気曝露時の寒冷血管反応	共	1991年11月	日本体力医学会第46回大会	三谷・北島・永田・目連・黛・田中・掘
16. 女子学生の運動経歴からみたライフスタイルと形態・体構成 運動能力に及ぼす影響	共	1991年10月	日本学校保健学会第38回大会	永田・北島・田嶋・三谷・中野・黛・野村
17. 女子学生の体力別にみた健康に関する意識	共	1991年10月	日本学校保健学会第38回大会	永田・北島・田嶋・三谷・中野・黛・野村 食生活面・健康管理状態を取り上げ、体力の有無別に健康に関する意識の差を検討。
18. 青年女子の形態理想像とその問題点	共	1990年11月	日本体力医学会第45回大会	永田・黛・三谷・田嶋・北島 この時期の極端な痩せ指向は問題である。
19. 遠赤外線放射衣類の身体作業能力に及ぼ	共	1990年10月	日本体育学会第41回大会	辻田・石指・土屋・掘・永田・目連・真方 衣類の素材の違いが身体作業能力に対し影響を与えたとすれば興味

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
す影響について				
20. 女子大学生の運動歴及び健康に関する意識と形態・体力の関係—第2報—	共	1990年01月	武庫川女子大学紀要38集	深いことである。 永田・三谷・北島・田嶋・黛 体力の実態を把握し、各学科相互間の比較、さらに10年前との形態・体力の変動を検討した。(pp.149)
21. 女性の健康と運動実施状況について — トレーニングが形態・体力・運動能力に及ぼす影響—	共	1987年09月	日本体育学会第38回大会	永田・目連・北島・田嶋 社会体育参加者を対象に測定評価する。
22. 小学生の遊びと運動能力の関連性	共	1986年01月	武庫川女子大学紀要34集	古達・檜塚・永田・北島 現在の子供達がどの様な環境の中でどの様な遊びを通して成長しているのかを知ると共に、これらの交友関係や遊びの内容が運動能力にどの様な関連性があるのかを把握する。(pp.55)
23. 小学生の教材体育と遊びの関連性について	共	1985年01月	武庫川女子大学紀要33集	永田・檜塚・北島 社会性の発達・遊戯性の発達・体育の好き嫌い別・体育の関心度を調査したものである。(pp.49)
24. 女性の健康と運動実施状況について	共	1985年01月	武庫川女子大学紀要33集	永田・檜塚・目連・初田 社会体育参加者(女性)に体力・運動能力アンケート等で調査する。(pp.57)
25. 2ヶ月のエアロビックスダンスが体型、体構成、運動能力に及ぼす影響	共	1985年	舞踊学会第22回大会	北島・永田・黛・目連・初田 エアロビックスダンスが体脂肪減少、筋力、柔軟性、持久性に効果が認められた。
26. 女子学生の運動に関する意識と形態及び体力・運動能力との関係	共	1984年01月	武庫川女子大学紀要32集	永田・丹羽・行森・伊達・三井・北島・初田 本学学生を対象に全国平均と学科別形態、体力、運動能力を調査した。(pp.9)
27. 大学水泳選手における性格と体格	共	1982年01月	武庫川女子大学紀要30集	初田・永田・目連 全日本学生水泳選手権大会参加者を対象にY-G性格検査等を実施する。(pp.33)
28. 自転車の発電機を利用した経運動のトレーニング	共	1981年10月	日本体育学会第32回大会	辻田・永田・黛・荒木 保健運動・トレーニング効果・運動の生活化
29. 中学生におけるなわとび運動が運動能力に及ぼす影響	共	1981年01月	武庫川女子大学紀要29集	永田・行森・宮永・柳谷 西宮市内中学2校の体力運動能力を5年間にわたり測定した結果と全国平均との差を調査(pp.40)
30. トレーニングによる皮下脂肪厚の減少第2報	共	1980年10月	日本体育学会第31回大会	永田・黛 皮脂厚、トレーニング効果、運動処方について追究した。
31. 運動負荷による月経増加量について	共	1979年10月	日本体育学会第30回大会	黛・永田・西本 月経量。運動負荷・増加量・貧血
32. 女子大学生の運動歴及び健康に関する意識と形態体力の関係	共	1977年10月	武庫川女子大学紀要25集	丸山・黛・古西 運動に対する考えが体力に及ぼす関係を見たものである。(pp.28)
33. バレーボールのゲーム分析 サープ及びスパイク(フェイント)について	共	1976年05月	武庫川女子大学紀要24集	丸山・二宮 関西1部リーグ戦を分析する。(pp.30)
34. 運動処方に関する実験的研究	共	1974年05月	武庫川女子大学紀要22集	永田(旧丸山)・佐々木・二宮・岸田 形態を測定しより効果的トレーニングにより変化を調べる。(pp.6)
35. バレーボールにおけるスパイクボールの速度に関する研究	共	1974年05月	武庫川女子大学紀要22集	丸山・佐々木・二宮 スピード測定を行ない決定率との関係を分析する。(pp.40)
36. 社会体育の一考察 第2回全国家庭婦人バレーボール大会の実情と今後のあり方	単	1972年01月	武庫川女子大学卒業論文	全国家庭婦人バレーボール大会が開催されて2年目。どのような環境のもとで主婦がスポーツをし健康づくりを行っているかをアンケート調査したものである。

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
その他				
1. 学会ゲストスピーカー				
1. 「女性」	単	2013年9月23日	日本体力医学会	第68回日本体力医学会大会 日本教育会館F会場にて司会
2. 共通教育科目「保健体育」の現状と今後のあり方		1993年03月	兵庫県健康・スポーツ科学会・ゲストスピーカー	永田隆子 大学保健体育の現状と今後の問題点を検討する。
2. 学会発表				
1. 女子スキー部における「食品構成表」と「食事ノート」を用いた夏季栄養サポートでの身体組成の改善	共	2014年8月	日本スポーツ栄養学会 第1回大会	小貫佐知子 永田隆子 渡邊完児 「食品構成表」と「食事ノート」を用いて食事と身体組成を継続的にモニタリングする。
2. 非医療系学部学生における一次救命処置の学習効果について	共	2014年6月	日本臨床救急医療学会 日臨救医誌 (JJSEM) 2014:17;332	木下理恵 永田隆子 有元秀明 非医療系学部学生にとってBLSに対するモチベーションは高く、履修において不確実性は有する
3. 食事ノートによる女子スキー選手への夏季の栄養サポート	共	2013年	JSNA学術集会(日本スポーツ栄養研究会)	小貫佐知子 永田隆子 渡邊完児 要減量者の食事摂取状況は食物繊維総量の改善にかぎられたが食事ノート継続により自己管理能力が高まり食事摂取状況が改善され身体組成を維持・改善できた。
4. 認定校における障害者スポーツ指導員資格取得後の実態について		2003年10月	障害者スポーツ研究会	障害者スポーツ指導員資格取得後本学卒業生の現状を明らかにするとともに現場へのボランティア活動への実態を知り大学としても情報提供の方法を検討する。
5. 女子大学生の運動習慣と健康状態に関する研究		2003年09月		(相澤徹・永田隆子・三井正也・田嶋恭江・高橋享子・橋本加代・鎌田陽子・森真理・山本潤子・池田克己・家森幸男) □若年女性の運動習慣の有無およびその質が健康に与える影響を明らかにするために、体組成測定、血液検査、尿検査等を行ない、その結果を分析した。
6. The cardiovascular Risk Factors in Japanese Female University Students.		2003年09月		(Junko Hiraoka, R. Nagata, K. Ikeda, M. Mori, K. Takahashi, K. Hashimoto, Y. Kamata, K. Kitamori, T. Aizawa, Y. Yamori) □Cardiovascular diseases are becoming extremely common in the world wide. Hypertension, obesity, hyperlipidemia and hyperinsulinemia are main risk factors of cardiovascular diseases. To investigate the cardiovascular risks in young women, we studied the several metabolic and physical parameters in Japanese female university students.
7. 女子大学生における大豆製品摂取による血清脂質改善		2003年08月		(高橋享子・鎌田陽子・橋本加代・森真理・永田隆子・相澤徹・山本潤子・松田賢一・池田克己・家森幸男) □最近、若年齢層女性の健康の問題点として、骨密度の低下や血清コレステロールの高値などが挙げられている。大豆タンパク質やイソフラボンの機能性物質は生体内での生理作用として、それらの問題に対する改善効果が注目されている。しかしながら、生活習慣病のリスクが高くなりつつある若年者に対する二重盲検の栄養介入調査は未だされていない。本研究では女子大生に対してイソフラボン摂取源として大豆入りケーキ等の栄養介入を実施し、大豆たんぱく質およびイソフラボンの血液生化学値に及ぼす影響について検討した。
8. 女子大生の健康と食生活に関する研究ー24時間尿栄養バイオマーカーについてー		2003年08月		(高橋享子・鎌田陽子・橋本加代・森真理・永田隆子・相澤徹・山本潤子・池田克己・家森幸男) □兵庫県では「健康ひょうご21県民運動」を推進し、健康づくりに関する意識の向上及び取組を目指している。これらの活動は主に住民検診の中で行われ、40~70歳の検診者に食生活に対する意識の向上が認められている。しかしながら、若年齢層の食生活の動向および栄養食生活については、把握で

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
9. 女子大生の健康と食生活の現状に関する研究－24時間尿栄養バイオマーカーについて－		2003年06月		<p>きない状況である。本研究は、若年齢層女性の食生活と栄養状態を把握し、望ましい食生活を提案することを目的に、女子大生を対象として、食事調査、24時間尿による栄養バイオマーカー分析を行った。</p> <p>（高橋享子・鎌田陽子・橋本加代・森真理・永田隆子・相澤徹・山本潤子・池田克己・家森幸男）□兵庫県では「健康ひょうご21県民運動」を推進し、健康づくりに関する意識の向上及び取組みを目指している。これらの活動は、おもに住民検診の中で行われ、40～70歳の検診者を対象に進められている。とくに、21世紀における国民健康づくり運動を拡充するためには、母子や若年齢層女性の健康は、非常に重要である。しかしながら、現在、若年齢層女性の食生活と栄養の現状は十分に把握されていない。本研究は、若年齢層女性の食生活の動向および栄養状態を把握するために、18～22歳の女子学生を対象に食生活調査、身体測定、血液生化学分析、24時間尿分析を行い、それらの解析より望ましい食生活を提案することを目的に実施した。</p>
10. 女子大生の健康と食生活の現状に関する研究－身体状況と食生活の関連について－		2003年03月		<p>（橋本加代・高橋享子・鎌田陽子・森真理・永田隆子・相澤徹・山本潤子・池田克己・家森幸男）□「健康日本21」の一環として、兵庫県では「健康ひょうご21県民運動」を推進し、健康寿命の延伸等を実現するため、健康づくりに関する意識の向上及び取組みを目指している。18～22歳の若年齢層女性に対して栄養評価測定、食生活アンケート、24時間尿による生化学分析などを行い、若年齢層女性の食生活を中心として問題点を明らかにする事を目的に実施した。</p>
11. 財) 日本障害者スポーツ協会公認 障害者スポーツ指導員資格取得認定校の実際	共	2002年08月		<p>藤原進一郎・永田隆子・保井俊英・田中美紀</p> <p>わが国の障害者スポーツの指導者育成は、1966年より養成講習会を中心に進められており、本学でも障害者のスポーツの生活化を促す指導者の育成に幅広く対応しこの制度のついで指導者養成に努めている。</p>
12. 21世紀の高脂血症 健やかな人生を送るために	共	2001年07月		<p>山本章・永田隆子・穴倉弘枝・石村孝夫・小林亜星</p> <p>脂肪のとり過ぎが高脂血症を招き今や国民病といえる。高脂血症はなぜ怖いのか、病気をよく知ること、何が原因となり、どんな問題を引き起こすか、そして予防法や治療法など具体的にアドバイスする。</p>
13. 高等学校保健体育の授業形態に関する一考察	共	1995年10月		<p>秋田・永田</p> <p>高等学校保健体育の授業内容・授業評価について検討。</p>
14. 武庫川女子大学短期大学部の「大綱化」への対応－何をしたか－	単	1994年11月		<p>（永田） 共通教育科目の現状報告をする。</p>
15. 大学女子バレーボール選手の体力について－M女子大学の場合－	共	1994年10月		<p>保井、永田、二宮</p> <p>M女子大学バレーボール部を全日本チームの選手間の体力差を比較し、個人到達可能な目標設定と目的達成が大切である。</p>
16. 共通教育科目「保健体育」の現状と今後のあり方	単	1993年03月		<p>（永田） 大学保健体育の現状と今後の問題点を検討する。</p>
17. 新しい大学教育 授業に生きるトレーニング機器	単	1993年02月		<p>（永田） トレーニングの施設・設備を生かした大学の授業について具体的に記す</p>
18. 変わる大学体育	単	1992年03月		<p>（永田） 本学の共通教育科目への取り組み方を報告する。</p>
19. 一般女子学生の寒冷暴露時の寒冷血管反応	共	1991年11月		<p>三谷、北島、永田、目連、黛、田中、堀</p>
20. 女子学生の体力別に見た健康に関する意	共	1991年10月		<p>永田、北島、田嶋、三谷、中野、黛、野村</p> <p>食生活面・健康管理状態を取り上げ、体力の有無別に健康に関する</p>

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
2. 学会発表				
識				
21. 女子学生の運動経験 暦からみたライフ スタイルと形態・体構 成・運動能力に及ぼ す影響	共	1991年10月		意識の差を検討。 北島、永田、田嶋、三谷、中野、黛、野村 ライフスタイル、形態、運動能力を運動経験暦から検討する。
22. 青年女子の形態理想 像とその問題点	共	1990年11月		黛、三谷、田嶋、北島、永田 この時期の極端な痩せ指向は問題である。
23. 遠赤外線放射衣類の 身体作業能力に及ぼ す影響について	共	1990年10月		辻田、石指、土屋、堀、永田、目連、真方 衣類の素材の違いが身体作業能力に対し影響を与えたとすれば興味 深いことである。
24. 女性の健康と運動実 施状況についてー トレーニングが形 態・体力・運動能力 に及ぼす影響ー	共	1987年09月		永田、目連、北島、田島 社会体育参加者を対象に測定評価する。
25. 2ヶ月のエアロピッ クダンスが体型、体 構成、運動能力に及 ぼす影響	共	1985年10月		北島、黛、目連、初田、永田 エアロピクスダンスが体脂肪減少、筋力、柔軟性、持久性に効果 が認められた。
26. 自転車の発電機を利用した 経運動のト レーニング	共	1981年10月		辻田、永田、黛、荒木 保健運動・トレーニング効果・運動の生活化
27. トレーニングによる 皮下脂肪厚の減少 第2報	共	1980年10月		永田、黛 皮下脂肪厚、トレーニング効果、運動処方について追求した。
28. 運動負荷による月経 増加量について	共	1979年10月		黛、永田、西本 月経量・運動負荷・増加量・貧血
29. 皮下脂肪厚のトレ ーニングによる減少 第1報	共	1979年10月		永田・黛・辻田 婦人バレーボール、女子高校生を対象にトレーニング効果を見、脂 肪厚を測定した。
3. 総説				
4. 芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
1. 全関西学生スキー選 手権大会 総合1部優 勝		2011年03月		平成3年より監督 総合1部優勝8回・準優勝7回・3位5回
2. 第63回国民体育大会 冬季大会スキー競技 会 兵庫県監督		2008年02月		スキー競技監督
3. 第62回国民体育大会 冬季大会スキー競技 会 兵庫県監督		2007年2月		スキー競技監督
4. 第61回国民体育大会 冬季大会スキー競技 会 兵庫県監督		2006年2月		スキー競技監督
5. 第60回国民体育大会 冬季大会スキー競技 監督		2005年02月		スキー競技監督
6. 第59回国民体育大会 冬季大会スキー競技 会監督		2004年02月		スキー競技監督
7. 全日本学生スキー選 手権大会 1部昇格		2004年～現在		1部昇格する
8. 第58回国民体育大会 冬季大会スキー競技 会 監督		2003年02月		スキー競技監督
9. 第57回国民体育大会 冬季大会兵庫県代表		2002年02月		スキー競技監督

研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
導者養成講習会 講師 「スポーツボラン ティアの基礎知識」 西宮市				
11. 「上級教育カウンセ ラー」として認定		2001年	日本教育カウンセ ラー協会	
12. 尼崎市武庫市民大 学、講師「高齢化社 会を生きぬこう」 健康管理と手軽にで きる運動 尼崎市		2001年	尼崎市	
13. 鳴松会講演「手軽に できる健康法」 兵庫県		2001年	武庫川女子大学鳴 松会	
14. 競技力向上トレーニ ング、測定評価 兵庫県スキー連盟講 習会		2000年～現在	兵庫県スキー連盟	
15. リビエール「健康」 病気を予防するた めに 武庫川学院広 報室 リビエール		2000年	武庫川学院	
16. 女性のライフスタイ ルについて 武庫 川女子大学体育学 会		2000年	武庫川女子大学	
17. 女子大学生のライ フスタイルに関する 調査 武庫川女子大 学体育学会		2000年	武庫川女子大学	
18. 女子大学生の運動 部所属状況につ いて 武庫川女子大 学体育学会		2000年	武庫川女子大学	
19. 高校生のライフス タイルについて 武 庫川女子大学体育 学会		2000年	武庫川女子大学	
20. やさしいダンベル 体操 今津公民館講 習会		2000年	西宮市	
21. スポーツメンタル トレーニング指導士 資格認定 日本ス ポーツ心理学会		2000年	日本スポーツ心 理学会	
22. シンポジウム「21 世紀の医療」 読 売新聞 8月29日掲 載		2000年	読売新聞・万有製 薬	
23. 体力測定結果に関 する評価の基本的 な考え方 健康運 動実践指導者講習 会		2000年	健康・体力づく り事業財団	
24. 正しい筋肉のうご かし方ー西宮市・生 涯体育大学ー		1999年	西宮市	
25. 体力測定結果に関 する評価の基本的 な考え方□（新体 力テスト）健康運 動実践指導者講習 会		1999年	健康・体力づく り事業財団	

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
5. 報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
26. 現代社会のストレスとリラクゼーション法について		1999年	武庫川女子大学	
27. 学校開放の現状と意識調査		1999年	武庫川女子大学	
28. 生活時間の実態について		1999年	武庫川女子大学	
29. 親のスポーツ経験が子供に与える影響		1999年	武庫川女子大学	
30. あなたの健康体力表 あなたの運動メニュー(武庫川学院仕様)完成		1998年	文科省	
31. 体力水準はどのように判定されるのかー体力測定と評価ー健康運動実践指導者		1998年	健康・体力づくり事業財団	
32. スポーツと栄養について 西宮リーダーバンク講師		1997年	西宮市	
33. 女子学生のライフスタイルと人生の目標について		1997年	武庫川女子大学	
34. 中高齢の女性における体力について		1997年	西宮市	
35. 測定評価 健康運動実践指導者講習会講師		1997年	健康・体力づくり事業財団	
36. 健康と運動 西宮生涯体育大学講師		1997年	西宮市	
37. 生涯体育大学・講師 元気で長生き『中高齢者の健康と運動』		1995年	西宮市	
38. スポーツリーダー研修会・講師『指導者のための基礎知識』		1995年	西宮市	
39. 健康・体力づくり事業財団 講師		1989年～現在	健康・体力づくり事業財団	健康運動実践指導者養成講習会 講師
40. 西宮市民スポーツ指導者養成講習会 講師		1980年	西宮市	
6. 研究費の取得状況				
1. トレーニング・測定室リニューアル		1999年4月	文科省平成11年度科学研究費	あなたの健康・体力表、あなたの運動メニュー(武庫川学院仕様完成する)
学会及び社会における活動等				
年月日	事項			
1. 上級教育カウンセラー	日本教育カウンセラー協会 日本体力医学会 日本学校保健学会 日本体育学会 日本栄養改善学会 日本公衆衛生学会 日本スキー学会			